

No. 20 号 ひらつかの風

2021年5月号
(令和3年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1 ……令和2年度 寄附の報告
- P.2 ……団体レポート『ウエルカフェ』
- P.3 ……お役立ち情報
- P.4 ……平塚市情報・センター情報

団体
レポート

地域の人と人の繋がり場の『ウエルカフェ』



センター及び市民活動団体のチラシを置いて頂いています。

平塚市情報

令和
2年度

寄附の報告

市民活動支援のために、合計 **360,421円** のご寄附が集まりました!

寄附者

「グランドホール金目店」様 他
 たすけ愛文庫(センター窓口前)からの寄附…137,518円
 (読み終わった本の寄附も募集中です!)
 今年度も随時、ご寄附をお待ちしております。
 市民活動支援のためのご寄附をお願いいたします。

平塚市協働推進課



団体
レポート

地域の人と人の繋がりの中『ウエルカフェ』

ウエルシア薬局株式会社は「お客様の豊かな社会生活と健康な暮らしを提供する」という企業理念のもと、様々な社会貢献活動を行っています。今号のひらつかの風は、企業の社会貢献として、地域協働の場「ウエルカフェ」を運営しているウエルシア平塚四之宮店様を訪ねました。

取材にあたってはウエルシア平塚四之宮店の店長石庭俊一さん、営業戦略本部地域包括推進部の澤田康裕さんにご協力いただきました。

■ウエルカフェとは、どんな場所？

ウエルカフェは、通常は市民のための休憩の場や井戸端会議の場、さらには薬剤師などによる情報提供の場ですが、これにプラスして、「地域社会における諸課題を地域で暮らす人々で解決していくための場」である地域協働スペースとして、地域包括支援センターや社会福祉協議会、NPO、市民団体、地域住民などに無料開放しているのが大きな特徴です。

その結果として、ウエルシア薬局の理念や取り組みを地域住民に知ってもらえるほか、実施している社会貢献やサービスの情報発信などにも役立っている、とのこと。

※ウエルシア薬局は全国に2215店舗（R3.4.3現在）、そのうち334店舗に「ウエルカフェ」を開設しています。



▲ウエルシア平塚四之宮店店長の石庭さん（左）、営業戦略本部地域包括推進部の澤田さん（右）

■「場所」と「出会い」

今年4月からは、民間と民間や自治体等の協働によるセミナーや講座も始めました。

澤田氏は「ウエルカフェも団体さん同士を繋げていける存在になれば嬉しいです。マルシェはとても刺激になりました。普段出会ったことがない人がマルシェで出会い、出会った方々が『これから一緒にやっぺいこう!』となれば望ましいですね。」と話します。

また、「民間企業の地域への社会貢献の意欲の高まりを実感しています。SDGs(※1)、社会貢献・地域との連携等、これまで私達が行ってきたことが時代の流れとマッチングしてきました。」と話されました。

■企業価値と今後のウエルカフェの展開

時代の流れが変わり、民間の企業価値をどう認識してもらうかを考える時、今の時代は価格を下げる事では差が付けにくくなり、消費者は安さだけでなくSDGsを推進する企業から物を買いたいという考えも広まって来ています。SDGsを推進し社会貢献をすることが企業の価値を高める、まさしくウエルカフェがCSV(※2)なのです。今後は、コミュニティー単位で地域特性に応じた場所づくりを推進し「地域の協働スペースとしてのコミュニティーを創造していきたい」とのことでした。

取材を通して...

「丁寧な接客をモットーに、人と人との繋がりを大切にしていきたい」と話すウエルシア薬局の皆さん。NPO/市民活動も「人と人との繋がり、利用者や協力者との関係づくり」が大切です。立場は違いますが根底は同じであることを改めて認識しました。

ウエルシア薬局の石庭店長、澤田さん、お忙しい中取材にご協力いただきありがとうございました。(や)



▲令和2年11月に実施したマルシェの様子

▲ウエルカフェでのセミナーの様子

■マルシェの開催

平塚四之宮店では昨年11月に初めて「マルシェ」を行いました。その際、ひらつか市民活動センターにもお声がけ頂き、3つの団体(NPO法人 フラワーセラピー研究会、NPO法人フードバンクひらつか、食事サービス ワーカーズ・コレクティブごちそうさま)が、出店させていただきました。また、平塚市社会福祉協議会は車椅子の体験講座を、ウエルシア薬局の薬剤師・管理栄養士が健康に関するミニ講座を行いました。

店長の石庭氏は「11月のマルシェは薬局・行政・各支援センターそして団体同士が繋がり、お互いの強みを活かして開催できました。ドラッグストアの立ち位置で地域のお役に立ちたいと考えてきたことが具現化できました。」と話されました。

※1 SDGs…2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標

※2 CSV…企業が社会的な課題に取り組むことで、企業の生産性や経済的価値が高まるという概念のこと

お役立ち
情報

ボランティアの受け入れで大切なこと

コロナ禍で市民活動の動きも大きく変化してきました。リアルな場の持ち方にも工夫を凝らしたり、オンラインでは多様なツールを活用したりして豊かな情報交換ができるようになってきました。市民のニーズに応えるために、コロナ禍に立ち向かう団体の前向きな姿勢に学ぶことはたくさんあります。

さて、ひらつかの風 20号では団体活動に欠かせない「ボランティア」、その受け入れの「コツ」についてご紹介いたします。

ボランティアと言っても、参加する人の動機や興味・関心、経験など多種多様です。ボランティアを受け入れるに際し、どのようなことに留意したらいいでしょうか。

1 組織内で受け入れの目的とボランティアの役割を明確に

何のためにボランティアを募集するのか(目的)、どんなボランティアを募集したいのか(ターゲット)、ボランティアの具体的な業務や期待すること、などを明確にしておきましょう。



2 説明会を開催してみよう

活動内容がわかったとしても、一步を踏み出すのは勇気がいるものです。きっかけを求めている人の背中を押すためにも説明会を用意し、どのような関わり方ができるのかを明確にし、なるべく参加のハードルを下げるための工夫も必要です。

そのためには日頃の活動内容ができるだけわかりやすく発信しておくことも大切です。Twitter や FB、Instagram などの SNS を活用し、署名入りの適切な情報発信を行いましょう。



3 ボランティアの希望を理解する

例えば月1回の気軽な参加、単発参加、グループ参加などを可能にし、間口をひろげておき、どのような形でも対応できる体制も整えておきましょう。

お金に代わる、新しい出会いや経験を通してボランティアに参加して得られるメリットの創出が大事です。自分自身の成長を実感できると感じられれば充実感が得やすいでしょう。



4 ボランティア以外の魅力(付加価値)を見つける

ボランティアを増やすには、ボランティアや社会貢献以外の「楽しそう!」「面白そう!」などの魅力を見つけてもらうと良いでしょう。日頃のボランティア活動の他に、他団体のイベントや交流会に参加する、関心のあるテーマを題材に勉強会を開催するのも案外効果的です。新しい学びを得ることは本人にとっても価値あることにつながってきます。



5 居心地の良い場づくりを心がける

ボランティア活動を始める際、大抵の方が「自分は求められているのかな、自分が居てもいいのかな」等の不安を少なからず持っています。「来てくれてよかった。あなたのおかげで楽しい活動ができた。お客さんも喜んでくださったよ。」など心に響くような声かけをしてみましょう。

「私のことを理解してくれている、私のことが必要だと思ってくれている」と感じてくれたら、次もまた参加してくれるようになります。

受け入れ側として「居心地の良い場」を心がけていくと良いでしょう。



6 交流の機会を設け仲間意識を育てる

現場で活動しているスタッフとの交流の場を作り、活動の醍醐味を話してもらおう、こんなことに困っている、次はこんなことをしたいのだけど、あなたは どう思う? など、ざっくばらんに話し合えると仲間意識が芽生えます。活動に慣れてきたら、ぜひ企画会議にも参加してもらいましょう。受け身だった活動が主体性を持った活動になってくればしめたもの。同じ思いを持って活動する仲間として迎え入れましょう。



センター情報

● 団体活動にお役立てください!

NPO@リレートーク第2回「多世代交流で地域を元気に! ちいき・こども食堂の目指すこと」

働き世代の負担軽減、孤食やフードロスの解消を目指し高齢者の介護予防にもつなげる、ちいき・こども食堂「ひばり野のなかま達」の大畑さんから、お話をうかがいます。



日時 ● 5月26日(水) 14:00~15:30
 ゲスト ● ひばり野のなかま達 大畑正子氏、他 会場 ● Zoom によるオンラインもしくは会場
 対象 ● NPO 法人・市民活動団体・関心のある方 定員 ● 20名 参加費 ● 無料

市民活動応援講座「市民活動のはじめ方」

市民活動を始めたいあなたの想いをカタチにしましょう。仲間や資金の集め方・広報の仕方など、市民活動を始めるための“ツボ”を具体的な事例をもとにわかりやすくお伝えします。

日時 ● 6月26日(土) 10:00~12:00
 講師 ● NPO 法人湘南 NPO サポートセンター 理事長 坂田美保子氏 会場 ● ひらつか市民活動センター
 対象 ● NPO 法人・市民活動団体・関心のある方 定員 ● 10名 参加費 ● 無料

NPO@リレートーク第3回「家庭の生ごみから持続可能な社会を考える」

家庭の生ごみを活かして楽しむことを提案し、生ごみの自家処理する過程を広め、まちづくりやごみの低減活動を行っている小林さんをゲストにお招きしてお話を伺います。



日時 ● 6月29日(火) 14:00~15:30
 ゲスト ● ごみを活かす会 代表 小林正治氏 会場 ● ひらつか市民活動センター
 対象 ● NPO 法人・市民活動団体・関心のある方 定員 ● 10名 参加費 ● 無料

平塚市情報

● ちいき情報局がスマートフォンで見やすくなりました!

誰でも「見やすく」・「使いやすく」

いつでも手軽に、平塚市内の地域の情報を見ることができる地域向けの交流・情報提供サービスであるちいき情報局が、令和3年4月1日よりスマートフォンで「見やすく」・「使いやすく」になります。

PC版サイトよりも更にシンプルなデザインになったことで、誰でも、簡単に「自治会」や「学校」等が発信する地域情報を知ることができます。既にお使いの方も、初めての方もぜひ一度アクセスしてみてください!



アクセス!

「ちいき情報局」で検索 or
 二次元コードでアクセス!

検索!

ちいき情報局

編集後記

今号は、「企業・中間支援・NPO・地域」の連携によるつながりの場「ウエルカフェ」(ウエルシア薬局平塚四之宮店)をご紹介しました。多様な団体が連携・協働することでまちづくりを推進する、その原動力になっていると感じました。現在開催中の「健康ライフ講座」は、市民ニーズを反映し企業間連携によって実施しています。一度足を運んでみてはいかてがででしょうか?(さ)

編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00~22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045
 神奈川県平塚市見附町1-8
 TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601
 Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net
 URL ● http://hiratsuka-shimin.net

センター登録団体数(2021年4月14日現在)

登録団体数 ● 480 団体

(内訳 市民活動団体…332 団体、一般団体…148 団体)



センターのマスコット
たすけくん

